

令和6年度 決算

わたしたちのお金は
どう使われたの？



一般会計の決算額

歳入 209億6575万円 **歳出** 199億4421万円

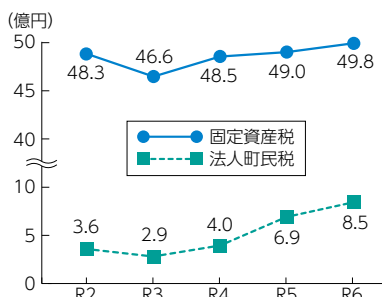


歳入

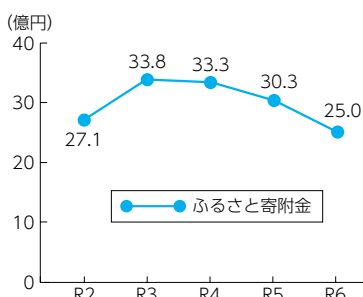
町税の法人町民税・固定資産税は増加したが
ふるさと寄附金は減少



法人町民税、固定資産税（共に町税）の推移



ふるさと寄附金の推移



問 寄附金減収に対し、今後の安定財源確保への取り組みは？

答

- ・企業誘致での法人町民税確保
- ・区画整理推進での人口増加に伴う固定資産税の増加
- ・国・県補助金の色々なメニューの活用等を考えている。



歳出

町村合併70周年記念事業で活気・魅力ある町を発信



多数の参加者で開催した記念式典

幸田町町村合併70周年
記念事業

4億9992万8777円

- ・イベント
記念式典等47事業
- ・物品等
生活応援チケット配布等24事業

問 記念事業実施結果を、どのように評価しているか？

答 各種イベントの総参加者数は、11万人超。70周年イベントは成功と認識しており、次回以降に継承していくため、結果を精査し記録に残しておきたい。

精励されたい。

令和6年度決算は、町税全体で増収となったが、年々増加する義務的経費や公共施設の維持改修費、新規事業に要する経費など増加要因が多く、今後も予断を許さない状況が続くものと思われる。事務事業の必要性・有効性・効率性に視点を置いて、的確な予算配分等を含め、適正な公金の支出と事務処理に心掛け、町の発展のため、なお一層職務に

は正確で、予算の執行はおおむね適正と認められた。財政指標の健全化判断比率等については、健全な数値と認められた。

正当な決算と認める

幸田町監査委員 大浦 裕
松本 忠明

令和6年度決算審査報告



LINE 利用に係る
運用保守支援業務
242万円

問 登録者数の推移は？
答 令和6年2864人、令和7年4874人で約2000人増加。約11%の登録率だが、近隣市は80%～90%であり、今後上げていきたい。併せて見やすい表記に取り組んでいきたい。



図書館座席予約システム
構築業務
697万4000円

問 昨年11月末に運用開始したが、どのような変化があったか？
答 夏休みには、4時台から場所取りで人が並んだが、システム運用後は無くなり、閲覧席は座れないという状況は発生していない。トラブルや苦情も特にない。

図書館の座席予約受付機

多くの不用額を出し10億円超の赤字である。流用・充用の乱用ではなく歳出管理をすべきだ。資本金10億円以上の大企業に制限税率8・4%で自主財源の確保を。ふるさと寄附金を依存財源にすべきではない。

町村合併70周年記念事業は、大盤ぶるまいのバラマキであり取捨選択が必要であると指摘できる。物価高騰など町民生活を圧迫しており、不要不急の事業は見直し、町民の福祉増進の町財政運営を求める。

町民福祉増進の町財政運営を
丸山千代子議員



町民要求を把握し的確な予算配分を
藤江徹議員

予算で計画した案件は、おおむね執行できたと判断する。町村合併70周年記念事業として、諸施策を実施し、活気と魅力のある幸田町を発信できた。

財政指標は全て健全な数値となっているが、財政分析では、財政力指数以外は前年比悪化傾向であることから、町民の要求をよく把握し、効率の良い事務執行で、的確な予算配分にて諸施策の実行を望む。

一般会計・特別会計・公営企業会計の決算額と採決結果

会計区分		歳入	歳出	採決
一般会計		209億6575万円	199億4421万円	反対1：賛成13で認定
特別会計	土地取得	1億730万円	1億730万円	全員賛成で認定
	国民健康保険	31億9081万円	31億8319万円	反対1：賛成13で認定
	後期高齢者医療	6億5296万円	6億5231万円	反対1：賛成13で認定
	介護保険	25億2776万円	24億7807万円	反対1：賛成13で認定
公営企業会計 (税抜き)	水道事業会計	収益的収支	8億2370万円	全員賛成で可決及び認定
		資本的収支	1億31万円	
	下水道事業会計	収益的収支	15億3154万円	全員賛成で認定
		資本的収支	4億9444万円	